

バンダラナイケ国際空港改善計画フェーズ2（第二期）【スリランカ】

施策所管局課 国別開発協力第二課

評価年月日 令和8年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	スリランカ民主社会主義共和国
(2) 案件名	バンダラナイケ国際空港改善計画フェーズ2（第二期）
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	大コロンボ圏の玄関口であるバンダラナイケ国際空港において、空港施設の拡張及び付帯施設・設備を整備することにより、急増する航空旅客需要へ対応するとともに利便性向上を図り、もって国外との連結性強化、観光産業を含む経済活動の活性化及び経済成長の促進に寄与するもの。 事業の内容 ・ 空港施設拡張 ・ 空港付帯施設・設備の整備 ・ コンサルティング・サービス ア 閣議決定日：平成27年10月6日 イ 供与限度額：454.28億円 ウ 金利：0.1%（コンサルティング・サービスについては、0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：日本タイド
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	ア 社会ニーズの現状 本事業の計画当初、国の玄関口として機能するバンダラナイケ国際空港においては、空港の年間利用可能人数である600万人を大幅に超過する731万人の旅客が利用し、空港拡張による混雑解消が急務となっていた。 現在も同空港の年間旅客数は著しく伸びており（2025年時点で1,021万人）、引き続き旅客数の増加が見込まれていることから、本事業に関する社会的ニーズがある。 イ 事業遅延に関する経緯・現状 旅客ターミナルビルなどに関する設計変更や入札の契約交渉に時間を要し事業が遅延した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により着工が遅延したことに加え、2022年に発生した同国の経済危機の影響による受注企業の契約

	解除の結果、更なる遅延が発生した。現在、契約解除に伴う再入札手続きを進めている。
(2) 今後の対応方針	本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、当初予定どおりの効果が見込まれており、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続する。
3 政策評価を行う過程において使用した資料等	・ 交換公文 ・ 外務省の約束状況に関する資料及び案件概要 ・ 政策評価法に基づく事前評価書 ・ 国際協力機構の案件検索 ・ 国際協力機構の事業事前評価表 ・ その他国際協力機構から提出された資料